

# 県労連

## あおもり

2017年9月5日 第324号

発行所 青森県労働組合総連合(青森県労連)  
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234  
発行人 青森県労働組合総連合(毎月5日発行) 定価 10円  
1992年10月30日 第三種郵便物認可  
本紙の購読料は組合費に含まれています。

# 安倍政権打倒！

## 改憲・労働法制改悪阻止！

青森県労連は8月27日、青森市で第29回定期大会を開催、執行部・代議員・傍聴者を含めて69名が参加しました。大会では全労連の小田川義和議長、日本共産



団結ガンバロウを三唱する代議員

党県委員会の斉藤美緒書記長、社民党県連の三上武志代表が連帯の挨拶、民進党を含む13団体からメッセージが寄せられました。奥村議長は、安倍首相の

16名が方針案を補強する立場から発言がありました。大会は奥村議長と檜山事務局長の再任、新たに5人の役員を含む新執行部を選出しました。大会宣言と「戦争法・共謀罪法廃止、憲法改悪阻止と安倍政権打倒をめざす」大会決議を採択しました。

### 参加者の発言

#### 蒔苗代議員(私教連)

東奥学園教職員組合が2年前に生徒減を理由にした賃金削減に反対する訴訟の支援の訴え(3年間で最大100万円削減)

#### 内山代議員(医労連)

つがる西北五広域連合の時間外手当の不払いの調停によるたたかいと賃金学習会の開催。

#### 伊藤代議員(県国公)

人事院勧告の4年連続賃金引上げ、退職金削減、社保庁解雇撤回、国家公務員賃下げ違憲訴訟。

#### あいさつする小田川全労連議長

改憲や「森友」「加計」問題、労働法制改悪の策動を批判、野党と市民の共同で、安倍政権退陣、解散・総選挙で勝利しようと呼びかけました。檜山事務局長は運動方針案を提案、改憲阻止、労働法制改悪反対、最賃の大幅引き上げ、ヒバクシャ署名などの課題を挙げ、組織の拡大・強化を訴えました。また、県労連の継続的な運動を保障するための財政の確立は急務であると強調しました。



#### 和田代議員(県教組)

県人事委員会勧告の国より低い一時金の引き上げ(東北最低)、全市町村を対象にした教育キャリアバンと就学援助金の拡大。

#### 秋元代議員(医労連)

国立病院の介護職員の3交代勤務の導入に伴う介護手当の新設と看護師並みの手当の引き上げ。

#### 中屋敷代議員(三八地労連)

三沢での日本平和大会の取組み、館鼻岸壁の朝市でのヒバクシャ署名、市営バス労組の一時金1・4か月の獲得。

#### 片桐代議員(高教組)

働く高校生の過酷な勤務実態、県内への就職の困難、高い授業料のための大学進学の高学費と給付型奨学金の拡充。

#### 高橋代議員(ひだまり)

市民と野党共闘で政治の革新を目指す労働組合のたたかいの重要性、共産党排除の克服を。

#### 宮永代議員(弘大職組)

国立大学法人化後のガバナンスの強化、研究費の大幅削減、防衛省の研究費補助の拡大。弘大職組結成50周年記念事業。

#### 逢坂代議員(高教組)

長時間労働の実態、今年度からの時間管理の実施、組織の純増達成、臨時教職員の正職員並みの年休繰越しの獲得と賃金などの待遇改善。

#### 宮崎代議員(福保労)

たんぼぼ保育園(弘前市)の保育士の解雇撤回のたたかいでの身分保全の仮処分勝利と地裁でのたたかい。

#### 渡部代議員(県教組)

「教師のための科学教育講座」に参加、東電第一原発を視察、取り返しのできない苛酷原発事故の恐ろしさ、原発再稼働反対の取組み。

#### 佐藤幹事(中弘南黒地区労連)

カンパによる宣伝カーの購入、1年間の地区労連の活動と世代交代の重要性、衆院4区の補欠選挙の取組み。



あいさつする新執行部

#### 柳谷副議長(東青労連)

全労連が提起している改憲阻止と労働法制改悪反対、安倍政権打倒のたたかい。

## 17年度役員体制 ~よろしくお願ひします~

副議長	奥村 榮 (私教連・再)
議長	今 正則 (幹事会・再)
同	石田英仁 (県国公・新)
同	田村儀則 (高教組・再)
同	柳谷政志 (東青労連・再)
同	檜山康博 (幹事会・再)
同	工藤昭隆 (医労連・再)
同	宮永崇史 (弘大職組・新)
同	鎌田貞孝 (ひだまりユニオン・再)
同	工藤正秋 (コープあおもり労組・再)
同	和田 力 (県教組・新)
同	相馬貴之 (中弘南黒地区労連・新)
同	佐藤 武 (下北地区労連・再)
同	高橋保文 (自治労連・再)
同	千代谷邦弘 (年金者組合・再)
同	原子則光 (上十三地労連・再)
同	有馬弘樹 (県国公・新)
同	水島康雄 (西北五地区労連・再)
同	山田優一 (三八地労連・再)
同	田中清治 (幹事会・再)
同	井筒信之 (医労連・再)
同	菅原 淳 (県国公・再)
特別幹事	
会計監査	

秋の臨時国会では、労働法制の改悪が狙われている。一昨年4月に国会提出されたこれまでも一度も審議されていない労働基準法「改正」案は、「高度プロフェッショナル制度(高プロ)」の創設と裁量労働制の規制緩和が含まれている。高プロは、年収1075万円以上の専門職の労働者を、労働時間規制の対象から除外するもので、残業しても残業代を支払わないため「残業代ゼロ法」とも言われている。財界は、年収要件を400万円まで引き下げることを要求し、塩崎厚労大臣(当時)は財界との交流会で、「小さく生んで大きく育てるので、ぐっと我慢して通して欲しい」と語っている。高プロは、第一次安倍政権が導入を目指した「ホワイトカラーエグゼンプション」と同じもので、その時は国民批判が高まり廃案となっている。7月に、連合幹部が「残業代ゼロ法」容認の姿勢を示したが、内外の反対意見の高まりで、安倍首相との合意寸前で取りやめた経緯がある。一方、「働き方改革実現会議」が取りまとめた、「ウソ」と「ゴマカシ」の時間外労働の上限規制が予定されている。時間外労働の上限を年間960時間、月平均80時間、単月では100時間未満としているが、これでは長時間労働にお墨付きを与えるものである。(檜山)

# 最賃738円に 生活できる賃金を

8月10日、青森地方最低賃金審議会は今年の審議結果をとりまとめ、青森労働局長に答申しました。審議会では、最低賃金専門部会から報告があり、労働者側は「最低800円に向け段階的に引き上げ」を主張、使用者側は「支払い能力の考慮」を主張し金額合意に至らず、賛成多数により決定した旨の報告がありました。専門部会の決定は、中央最低賃金審議会の示した738円(22円引き上げ)とするものでした。報告を受け、採決を行った結果、

使用者側委員5人が反対、労働者側委員及び公益委員全員が賛成し、738円(22円引き上げ)とする答申を決定しました。青森県労連が昨年実施した最低生計費調査では、青森市で一人暮らしをするためには、月173・8時間換算で時給124・3円が必要となっております。県労連は「いますぐ1000円、そして1500円の要求を掲げて取り組んできました。2010年の政労使合意では、「できる限り早期に全国最低800円を確保し、景気状況に配慮しつつ、2020年までに全国平均1000円を目指す」とし



7/10の青森駅前の座りこみ

# 改憲阻止、戦争法・共謀罪法廃止！

8月15日、県労連や県九条の会などの12団体は、「共謀罪法廃止！憲法改悪反対！青森平和集会」を青森市の青い森公園で開催し、青森市民など130人が参加しました。主催者を代表して県九条の会の金澤茂共同代表は、「憲法9条の下、平和実現に向けて積極的に行動することが日本の使命」「私たちは、参議院選挙以上に野党と市民の共闘を強固にしなければならぬ。」「全国の人々と手を携え、憲法改悪阻止、

安倍政権退陣へたたかい抜こう」と訴えました。参加者を代表して、日本共産党の高橋千鶴子衆議院議員、社民党青森県連合の上武志代表、民進党の上田世喜男衆議院議員の三氏があいさつしました。高橋さんは、核兵器禁止条約の成立により、世界中の関心が高まる中、唯一の被爆国日本の首相でありながら、アメリカに追随する安倍政権を痛烈に批判、市民と野党の共



120名が参加した青森集会

ており、2020年に県最賃を1000円にするためには、毎年7円以上の引き上げが必要であり、答申額の大幅引き上げを求めて異議申出書を提出しましたが、却下されました。

## 医労連 定期大会

青森県医労連は8月30日、第59回定期大会を観光物産館アスパムで開催し、代議員・役員など55名の参加で活発な討論をおこないました。来賓として県労連榎山事務局長より挨拶いただきましたとともに、青森年金裁判と、いのちのとりで裁判への支援が呼びかけられました。大会では、安全で安心できる医療・介護実現とやりがいを持ち笑顔で働き続けられる職場づくり、8時間働いたらまともに暮らせる賃金・労働条件の確立、生存権を全面に掲げての社会保障闘争、共謀罪法・戦争法廃止や沖縄新基地建設阻止のたたかい、総選挙も視野に入れた市民と野党との共同、職場・地域での要求闘争と学習を基礎とした組織の強化・拡大など、加盟各組織から貴重な取り組みの経験や成果が報告されました。また、平和のもとで誰もが人間らしく暮らせる社会に向け、国民の怒りを結集し、権力や国政を私物化する安倍政治を終わらせる情勢認識を共有

〈ろうきん〉のカードなら  
ATMお引き出し手数料  
全額即時キャッシュバック！

実質 **0円**

東北労働金庫青森県本部 青森市本町3丁目3-11 ☎017(777)6165



生命・医療・火災・自動車・・・

**全労連共済**

労働組合の助け合い共済。  
民間保険と違い、営利目的ではない。  
だから、「小さな掛金」で「大きな保障」が実現。  
問い合わせは県労連に ☎017-762-6234

**大間原発反対現地集会**に行ってきました。ズックやスポンがずぶぬれでしたが、デモ行進は気持ち良かったです。一人のおばあさんが玄関先で何度も頭を下げていました。(久保田 栄美・県教組)



**今年もねぶた**がやってきた。昨年と変わったのは孫が遠方に行ったので自宅で遠い所からタイコのみだけきいている。(千葉美千代・年金者組合)

**旭山動物園**に行ってきました。猛暑で動物もグッタリでした。修学旅行生と中国旅行客が目立ちました。偶然、市内の知人に遭遇しビックリポンでした。(伊藤和夫・年金者組合)

**毎週土曜日** 以前「糸でんわ」で4キロの減量を絶対に達成してやる！と宣言したが、結果は1キロ減に終わってしまった。原因は晩酌であることははっきりしている。誘惑に負けてしまうのもかわいい個性だと思いい、長いスパンで挑戦を続けていくことにしました。(中道博章・年金者組合)

**まっぴがわり** 季節はすでに秋ですね。季節のうつりかわりが早く感じられます。(今晴美・ひだまり)

**第322回 まちがいがし**

ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いてください。余白に職場の様子や最近の出来事などを、およせ

ください。正解者の中から抽選で図書券をプレゼントします。

●締切 10月15日  
●発表 11月号  
●宛先 030-0852 青森市大野字若宮165-19。FAX、メールは欄外に表記。「第322回まちがいがし」係りまで。

第320回の答えと当選者  
《答え》①左の女性の水着②右の男性のタオル③カニ④鳥⑤ボール⑥浮き輪⑦タオル

《当選者》14通の応募でした。当選者は次の方々です。

細川弘彦(年金者組合)、長内一(建交労)、都谷孝子(年金者組合)、伊藤和夫(年金者組合)、長内幸子(建交労家族)

旭山動物園 に出かけている十和田東クリニック。早朝から雷雨がすごかったのですが手作り弁当持参でバスに乗りました。途中何があってもこの仲間と運命を共にするのであれば「まあいいかー」と。でも無事に帰宅。早速ペンをとりました。(都谷 森孝子・年金者組合)